

教科	国語科	学年	第1学年	担当者	綱本 奈々子・坪倉 大喜
----	-----	----	------	-----	--------------

**【教科目標】**

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。
---

**【使用教科書・教材等】**

・教科書（「国語1」光村図書・「中学書写一年」）・ファイル ・ワーク ・文法ワーク ・漢字ワーク ・習字道具
--

**【学習計画】**

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	<b>1 言葉に出会うために</b> 野原ようたう（詩） <b>2 学びをひらく</b> シンシユン(物語) 情報を的確に聞き取る（聞く） <b>3 新しい視点へ</b> ダイコンは大きな根？（説明文） ちょっと立ち止まって（説明文） 話の構成を工夫しよう（スピーチ） 文法への扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の働きや仕組みについて理解を深める。</li> <li>登場人物の心情や行動を表わす言葉に着目して作品を読む。</li> <li>登場人物の心情や関係の変化を捉えている。</li> <li>情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモをとる。</li> <li>「問い」と「答え」から中心部分を捉え、筆者の主張を理解している。</li> <li>筆者の主張と事例との関係を理解している。</li> <li>序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。</li> <li>声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに中止しながらスピーチをする。</li> <li>単語の種類について理解する。</li> </ul>	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク  *文法ワーク (指示があった時のみ)
	<b>4 情報社会を生きる</b> 情報を読み取ろう 情報を引用しよう <b>5 言葉に立ち止まる</b> 詩の世界（詩） 言葉1 読書を楽しむ 本の中の中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。</li> <li>詩の中の語句の意味を捉えながら語幹を磨き、語彙を豊かにしている。</li> <li>表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書く。</li> <li>指示す語句と接続する語句の役割について理解する。</li> <li>様々な読書の楽しみ方について理解する。</li> </ul>	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク
2 学 期	<b>6 心の動き</b> 大人にならなかつた弟たちに…（物語） 星の花が降るころに（物語） 聞き上手になろう 項目を立てて書こう 読み手の立場に立つ 方言と共通語 <b>7 筋道を立てて</b> 「言葉」をもつ鳥シジュウカラ 根拠を示して説明しよう 話題や展開をとらえて話し合おう いしえの心にふれる いろは歌 宝来の玉の枝―「竹取物語」から（古文） 今に生きる言葉(漢文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。</li> <li>様子や動きを何かかたにたとえた表現を探し、どのような情景や気落ちをたとえているか考える。</li> <li>場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深める。</li> <li>話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことをもとに、質問の仕方を工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解する。</li> <li>共通語と方言の違いについて理解する。</li> <li>筆者がどのような事実をもとにどのような仮説を立てたかについて理解する。</li> <li>筆者の意見とそれを支える根拠との関係を考える。</li> <li>音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。</li> <li>基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。</li> </ul>	*文法ワーク *書写の教科書 *習字道具 (指示があった時のみ)
	<b>8 自分を見つめる</b> 少年の日の思い出(物語) 随筆二編 さまざまな表現技法 さくらのなびら(詩)	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりする。</li> <li>登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えを持っている。</li> </ul>	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク  *文法ワーク

**【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）**

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	漢字や語句の意味、文法を理解するなど社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。	言葉がもつ価値に気づこうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしているか。また、粘り強く課題解決に向けて学習に励んでいるか。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テスト</li> <li>ワークシート</li> <li>漢字テスト</li> <li>書写</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テスト</li> <li>ワークシート</li> <li>パフォーマンス課題（スピーチなど）</li> <li>作文</li> <li>振り返りシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テスト</li> <li>漢字ワーク</li> <li>行動観察</li> <li>振り返りシート</li> <li>ワークシート</li> <li>パフォーマンス課題</li> </ul>

**【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業規律を守りましょう。（あいさつ・私語・忘れ物）</li> <li>○教科書をよく読みましょう。音読をして、漢字の読み方を覚えたり、分からない言葉の意味を調べたりして語彙を増やしましょう。</li> <li>○授業には積極的に参加し、自分の意見や考えを持つようにしましょう。</li> <li>○ノートやプリントにしっかり書き込み、大事なことがすぐに分かる、自分の意見の書かれたノートやプリントにしましょう。</li> <li>○他の人の意見をしっかりと聞いて、自分との共通点や相違点を見つけ、大事なことはノートにメモをする習慣を身につけましょう。</li> <li>○宿題はきちんと行い、期限を守って必ず提出しましょう。</li> <li>○小テストやワークシートはファイルに綴じ、単元テスト前に見直しをしましょう。</li> </ul>
---

**【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書を何度も音読しましょう。</li> <li>○出された課題や宿題は計画的に行い、期限を守って提出しましょう。</li> <li>○ワークは、丸つけ・直しを丁寧に行い、テスト前には必ず見直しをしましょう。</li> <li>○自学のノートなどに、習った漢字や語句の練習を積極的行い、定着させましょう。</li> <li>○家で読書（新聞・本）の時間を設け、活字に親しみましょう。</li> </ul>
--

